

山麓探偵団通信

4月号

大震災に被災された方々に、ここからのお見舞いを申し上げます。また犠牲になられた方々のご冥福をお祈り申し上げます。

まだひきつづく余震と原発状況に、不安をかかえる毎日ですが、互いに情報および知恵を交換しつつ、なんとか乗り越えていくしかありません。

探偵団では、下記のとおり、五月二十七日(金)の活動を企画しました。それ以前に山中湖畔裏山など散策ご希望の方は、なんとのご連絡ください。

短時間の散策コースをご紹介します。きますし、もし都合があれば、同行者も募れるかもしれません。この季節に体をのぼせる至福もまた、おおいなる自然の賜物でありましょう。

探偵団仲間同士の積極的なお声をかけを、期待しております。

◆特別寄稿

今回、探偵団発足十二年目にし
てはじめて、伊藤浩美さんに随
想をお願いしました。

震災に伴っての自粛という訳では
ありませんでしたが三、四月と

探偵団団長を休ませていただきま
した。

一連の被災地の報道を見続けて
いると、さまざまな事を思い考
えてしまい、気持ちは滅入るばかり
で、仕事も手に付かないような日
々が続いていました。おそらく多
くの方も、同様ではなかったかと
思います。



<高指山での一日>

一ヶ月程過ぎ、日常に戻らねば
と思いつつも、やはり今回の地震、
津波、原発という災禍は、自分に
とてつもない宿題を突き付けてき
ます。震災の前後で日常の在り
方が、恐らく変化してしまうので
しよう。

支援とは何か、自分にできるこ
とは何か、何をすべきか、探偵団
でも何かできないかを、模索して
います。たかが探偵団、されど・
・。

東日本大震災から四日後の三月
十五日夜、表富士の西白塚付近を
震源とした地震があり、山中湖で
も震度五強の激しい揺れ。二日後、
気になって震源地付近を見に行く。
大きな変化はありませんが、その
後もこの地を震源とする地震が、
何度か起きているようです。日本
列島の地下で、何かが始まったよ
うな気がするの、私だけではな
いでしょう。

もつと凄いことが起きそうな予
感もします。歴史がそう記録して
いるから。

先のことは誰もわからない。な
すがまま。自然体。それなら、今
生きていることを感謝し、人生の
意義を考え生きていけたら、それ
でいいのかも。

なら、探偵団は、難しく考えず、
山野を歩き、自然を知り、友と語
り見聞を厚くして行けばいいのか
も。背伸びせず己を知り。あくま
でも自然体で。

五月の探偵団は新緑の富士山麓
を歩く予定。ゆっくりとゆったり
と森に溢れる命を感じながら。

それでいいですかね、みなさん。
四月十五日 伊藤浩美

五月の探偵団活動ご案内

新緑の富士山麓を歩く

映像カメラマンの伊藤浩美団長
に、ご案内いただきます。

・五月二十七日(金)

・集合 朝9時30分

・森の喫茶室あみん

・参加費 2300円

・持ち物 昼食・雨具・マイカッ

プ・防寒着・双眼鏡など

○ 申し込み・問い合わせは三日前

までに、電話かメールでお願い
します。

◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

お知らせ

伊藤浩美カメラマン撮影の「富士
山麓日記」の放送日が変更になり
ました。

山梨放送(YBS)の毎週土曜
日、午前十一時五十五分からの五
分間を、ぜひお見逃しのないよう
に、おすすめします。

また、「富士山麓日記」の映像を、
伊藤さんご自身が再構成・編集な
された「四季・富士山麓 山の歳
時記(ダイアリー)」が、甲府CA
TV毎週月曜日更新で始まりまし
た。甲府以外の方は残念ですが、
甲府在住のお知り合いに、ぜひと
も広報をなさってくださいね。

発行 山麓探偵団 事務局

山梨県山中湖村平野一六九八
電話 〇五五五・六五・七〇二三